

挑戦し続ける

レーザーテック株式会社

技術五部 道上 久也

1. 経歴

私は2017年に応用自然科学科の精密科学・応用物理学専攻を修了し、新卒で大手電機メーカーに入社しました。その後転職をして現在はレーザーテックという会社に勤務しています。今年31歳の若輩者ですが、これまでの社会人生活を通じて感じたことを述べさせていただきます。

私は大手電機メーカーには4年程勤務し、配属された事業部で大変に素晴らしい環境で仕事をすることができました。ここでの経験は今後の人生の宝です。しかしながら、不幸にして所属していた事業部が解散することになり、私は新しい部署に異動することになりました。しかし、私は移動先の部署で自分の思うように活躍することができず、環境を変えるためにレーザーテックという半導体関連装置メーカーに転職をしました。レーザーテックでは機械設計という点では同じですが前職とは全く別の技術分野の仕事をしています。レーザーテックは転職者が8割程度を占める会社で、さまざまな考え方をを持った同僚と共に大変でありながらもやりがいのある仕事できています。入社3か月で客先工場への長期出張を経験させてもらい、入社1年半後の今年の夏にはマネージャー相当の役職で台湾への赴任を予定しています。

2. これまでの社会人生活で感じたこと

レーザーテックで仕事をしていると、前職で腐らずに転職という挑戦をしてよかったと日々感じます。また、先人の方々の挑戦のおかげで、現在は大変に転職がしやすい時代になっているという感謝の気持ちを持ちます。転職が今ほど一般的でなかった時代において、過去に実際に転職をされた方がたくさんの方で活躍をされて、転職者の評価を上げてくださったからだと思います。新卒で入社した大手電機メーカーにはさまざまな理由で自分の仕事に満足できていない方々が大勢いました。個人個人状況は異なると思いますが、諦めずにリスクを取って挑戦をする人が今後も増えていけばいいなと思っています。仮に失敗したとしても挑戦し続ければやがて報われて、また個人が挑戦し続けることで社会全体を良くすることができると思っています。

最後に余談ですが、私は台湾のTSMC向けの仕事をすることが多いですが、台湾人の仕事に対する姿勢から大切なことを感じさせられます。台湾は小さく資源の少ない国ですが、国民が勤勉で仕事に熱中しチームプレーができることを武器に世界最先端の半導体製造技術を獲得し、台湾人の暮らしは豊かになっています。働き方改革で仕事の優先度を下げようとしてきた日本とは対極のように見えて、どちらが幸せな生き方なのだろうかと考えさせられます。

(大阪大学 工学部 応用自然科学科 精密科学コース 2015年卒
大阪大学 大学院工学研究科 応用物理・精密科学専攻 2017年前期)